

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2023 年度(令和 5 年度)第 5 回理事会議事録

1. 開催日時 2024 年 1 月 31 日(水)9:00- 12:00

2. 開催場所 Zoom によるオンライン会議

3. 出席者 理事数 20 名
出席理事 14 名 (定足数 11 名)

4. 議 長 理事 高橋 幸弘

5. 出席役員

理事 高橋 幸弘

理事 田近 英一

理事 サイモン・ウォリス

理事 小口 千明

理事 河宮 未知生

理事 堀 利栄

理事 阿部 なつ江

理事 大谷 栄治

理事 成瀬 元

理事 長谷川 直子

理事 日比谷 紀之

理事 福山 繭子

理事 村山 泰啓

理事 和田 浩二

監事 鈴木 善和

監事 春山 成子

6. オブザーバー

事務局長 末廣 潔

情報システム委員会委員長 興野 純

大気水圏科学セクションプレジデント 佐藤 薫

地球人間圏科学セクション幹事 松多 信尚

地球人間圏科学セクション幹事 若狭 幸

固体地球科学セクションプレジデント 田中 聡

地球生命科学セクションセクションプレジデント 掛川 武

地球生命科学セクションバイスプレジデント	黒柳 あずみ
地球生命科学セクション幹事	豊福 高志
学協会長会議議長	多々納裕一

7. 審議事項

第 1 号議案 新入会員承認の件

定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。これを承認した。

第 2 号議案 新規委員承認の件

新たな委員を審議した。これを承認した。

第 3 号議案 会長・副会長選挙規則承認の件

会長・筆頭副会長選挙規則および細則を審議した。これを承認した。筆頭副会長の英語名称は今後検討することとした。

QandA を後日公開するが、文言は再度検討する。

会長・筆頭副会長選挙の選挙管理委員会については、代議員選挙およびセクションプレジデント選挙の選挙管理委員会をもって充てる。

第 4 号議案 公益社団法人日本地球惑星科学連合国際貢献賞受賞者の件

推薦に基づき、審査委員会にて審査を行った。審査委員会より推薦のあった 2 名の最終候補者について審議した。これを承認した。

第 5 号議案 その他

1. ユニオンセッションへの招待講演者の大会参加登録料

2024 年大会 U-10「日本学術会議と JpGU」への日本学術会議光石 衛会長の招待について審議した。3「地球惑星科学とは異なる分野が専門で（あるいは非研究教育者で）JpGU 非会員の方を招待講演者として依頼する場合」の c「JpGU が主催するユニオンセッションや基調講演会、大会企画等」に該当するとして、承認した。

2. サポートレターについて

共同利用共同研究拠点申請へのサポートレターの依頼があった。審議の結果、承認した。

8. 報告事項

1. 高橋 幸弘代表理事 職務報告

・前回理事会で承認した通り、役員候補者推薦委員会での理事候補者選出にあたり、ダイバーシティ（多様性、平等性、包摂性）をより考慮する。それにあたり、委員にレクチャーを受けていただく。

- ・AGU とのジョイントミーティングを 2026 年に開催することを検討しており、AGU 側とも検討を進めている。まだ決定ではなく検討段階である。

- ・AOGS の 2026 年大会の準備状況について情報があつた。

2. 田近 英一理事（広報普及担当）職務報告

広報普及関連の報告があつた。

- ・12 月 28 日に高校生のための公開講座をハイブリッドで開催した。オンラインの参加者が多かった。

- ・3 月に東北大学理学部と協力して、東北大学での公開講座を開催する。従来のイベントに JpGU が協力してタイアップする形であり、他の大学でも同様のイベントがあれば協力を検討したい。

- ・JGL2 月号は現在準備中である。

3. ウォリス理事 職務報告

報告を省略した。

4. 小口 千明理事 職務報告

担当について報告があつた。

- ・オンヤクについて

「オンヤク」の試行のための予算をダイバーシティ推薦委員会予算として計上した。

3 月 17 日ダイバーシティ推薦委員会と愛媛大学の共催イベントで再度試行する予定である。

JpGU 大会でも一部のセッションで採用する。

- ・能登半島地震について緊急セッションを提案した。

5. 河宮 未知生理事 職務報告

財務関連の報告があつた。

- ・1 月 23 日にスポンサー制度説明会を行った。二十団体超の参加があつた。

6. 堀 利栄理事 職務報告

ダイバーシティ推薦関連の報告があつた。

- ・ダイバーシティ推薦委員会の推薦で役員候補者推薦委員会の関連レクチャーの講師を選出し、依頼した。

- ・共催イベントの準備を行った。

- ・大会会場への保育室設置について、ダイバーシティ推進委員会の予算として計上する。費用が高くなっているが、全体として必要な福利厚生であるため、今後も予算を確保してほしい、という意見が紹介された。理事会としてこれを了承した。

・特別栄誉フェローについて、推薦書を理事会に回覧し了承されたうえで、本人に通知を行った。必要な予算について処置が行われるよう要望があった。

7. 道林 克禎理事（総務担当）職務報告

福山理事より代理で報告があった。協賛・後援したイベントのリストを報告した。

8. 成瀬 元理事（財務担当）職務報告

財務関連の報告があった。2023 年度の決算の見込みおよび 2024 年度の収支見込について報告があった。また、財務委員会会議開催の報告があり、執行するか確定しない予算は財務委員会預かりとする旨、委員会に属さない予算の取り扱いについて検討している旨、報告があった。

能登半島への寄附金について報告があった。

9. 和田 浩二理事（大会運営担当）職務報告

大会準備状況について報告があった。

・既に報告した通り、投稿規定を見直した。投稿者は発表者とする（筆頭著者である必要はない。）

・コマ割りを公開した。現状空きがほとんどない状況である。

・緊急セッションが提案された。現在プログラム委員会で採択判断を行っている。パブリックセッションは土曜日、ユニオンセッションは平日に開催を予定している。

・投稿料・参加登録証は昨年と同額と決定し、公開した。参加登録開始は 3 月 7 日の予定である。

・例年通り Confit を利用する。

・現地口頭発表は参加者持ち込みの PC で行う。機能しない場合は USB メモリを利用する。

・ポスター発表は、全て Confit の各発表スペースに掲示することを必須とする。

・開催イベントを委員会・セクションから受付中である。巡検 6 コース、人工知能学会との共催イベント、ダイバーシティ推進委員会による高校生対称の相談ブースなどが準備中である。

・学生賞の審査委員はウェブサイトへ氏名を掲示する（希望者）。学生旅費支援は実施する。

・現状の課題として、土曜開催の方式、表彰式と懇親会、会合部屋の確保、「オンヤク」の導入が挙げられた。

以下の意見交換があった。

・学生優秀発表賞について、審査員人数の偏りにより審査上の不公平が生じるという点について意見があった。今後の検討課題とするが、審査委員の依頼方法等を検討するには、大会運営委員会だけでなく、全体として検討する必要がある課題であるという指摘があった。セ

クションとしても工夫を考えたいという意見があった。

- ・各自の持ち込み PC で発表することについて質問があり、会場係を 2 名体制とすること、委員会としてもサポートすることについて返答があった。

10. 沖 大幹理事（グローバル戦略担当）職務報告

ウォリス理事より代理でグローバル戦略委員会会議の開催報告があった。

11. ダイバーシティ推進委員会活動報告（阿部担当理事）

ダイバーシティ推進委員会活動報告があった。

- ・3 月 17 日に公開講演会「国際社会におけるダイバーシティ推進の現状理解へむけて」を開催する。

12. 教育検討委員会活動報告（阿部担当理事）

報告を省略した。

13. 環境災害対応委員会報告（沖担当理事）

- ・能登半島地震について情報ページを作成し公開した。
- ・緊急セッションを提案した。防災学術連携体とも協力している。

14. 情報システム委員会活動報告（村山担当理事）

- ・システムの入れ替えについては継続して検討している。
- ・RDM について、国内のデータリポジトリの情報を収集している。将来的にはホームページに掲載するなど会員に情報を開示する予定であるが、一般への公開の可不可も含め検討する。
- ・ORCID について、コンソーシアムの参加団体が増加しているため、年会費が抑えられているという報告があった。

15. ジャーナル関連活動報告（倉本担当理事）

代理で事務局より報告があった。

- ・投稿および出版は順調に推移している。投稿数が増えたため、リジェクト率は上がっている。Springer との契約は APC について合意が持てず、現在遅れている。

16. 顕彰委員会活動報告（川幡担当理事）

審議事項で活動報告を行ったので省略した。

17. セクション活動報告

固体地球惑星科学セクションより、国際化アンケート調査の結果が報告された。

18. その他

国の方針としてジャーナルの契約を強化するという情報があった。

以上

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後 12 時 00 分)
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席役員は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

2024 年 1 月 31 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 5 回理事会

出席理事	高橋	幸弘	印
出席理事	田近	英一	印
出席理事	サイモン・ウォリス		印
出席理事	小口	千明	印
出席理事	河宮	未知生	印
出席理事	堀	利栄	印
出席理事	阿部	なつ江	印
出席理事	大谷	栄治	印
出席理事	成瀬	元	印
出席理事	長谷川	直子	印
出席理事	日比谷	紀之	印

出席理事	福山	繭子	印
------	----	----	---

出席理事	村山	泰啓	印
------	----	----	---

出席理事	和田	浩二	印
------	----	----	---

出席監事	鈴木	善和	印
------	----	----	---

出席監事	春山	成子	印
------	----	----	---